

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

わたしたちのまわりには、水があります。雨がふると、水は地めんにたまり、川へとながれていきます。

水は高いところから低いところへうごくせいしつがあります。

そのため、山から海まで、長いみちをとおってうごいていきます。

水がながれるとき、はやさや方向はばしょによってかわります。

たとえば、さか道では水ははやくながれ、ひらたいたところではゆっくりながれます。

石や木があるときは、水はそれをよけてうごきま

す。雨のあとにみずたまりができるのも、水がそこにあつまるからです。

水のながれを見ると、どちらの方向へ下っているかわかることがあります。

また、水がながれるちからで、土や小さな石がはこばれることもあります。

川の下にすながたまるのも、水のちからのえいきょうです。

水はいきものやしよくぶつがいきるためにたいせつです。

川やみずたまりのようすをよく見ると、水のながれとくらしのつながりに気づくことができます。



(1) 水のうごき方として、文の内容と合っているものはどれですか。正しい番号を○でかこみましょう。

- ① 水は低いところから高いところへうごく
- ② 水は高いところから低いところへうごく
- ③ 水はどこでも同じはやさでながれる

(2) つぎの文の①と②に当てはまる言葉を文の中から探し書きましょう。

「さか道では水は(①)ながれ、ひらたいたところでは(②)ながれます。」

(①) (②) ()

(3) つぎの文を、文の内容に合うようにならべましょう。

- ① 雨がふる
- ② 水が地めんにたまる
- ③ 川へとながれていく



(4) 川の下にすながたまるのは、なぜですか。文のないようをもとにかきましよう。



1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

わたしたちのまわりには、水があります。雨がふると、水は地めにたまり、川へとながれていきます。

水は高いところから低いところへうごくせいしつがあります。

そのため、山から海まで、長いみちをとおつてうごいていきます。

水がながれるとき、はやさや方向はばしょによつてかわります。

たとえば、さか道では水ははやくながれ、ひらたいたところではゆっくりながれます。

石や木があるときは、水はそれをよけてうごきま

す。雨のあとにみずたまりができるのも、水がそこにあつまるからです。

水のながれを見ると、どちらの方向へ下っているかわかることがあります。

また、水がながれるちからで、土や小さな石がはこばれることもあります。

川の上にながたまるのも、水のちからのえいきょうです。

水はいきものやしよくぶつがいきるためにたいせつです。

川やみずたまりのようすをよく見ると、水のながれとくらしのつながりに気づくことができます。



(1) 水のうごき方として、文の内容と合っているものはどれですか。正しい番号を○でかこみましょう。

- ① 水は低いところから高いところへうごく
- ② 水は高いところから低いところへうごく
- ③ 水はどこでも同じはやさでながれる

(2) つぎの文の①と②に当てはまる言葉を文の中から探し書きましょう。

「さか道では水は(①)ながれ、ひらたいたところでは(②)ながれます。」

- ① () はやく ()
- ② () ゆっくり ()

(3) つぎの文を、文の内容に合うようにならべましょう。

- ① 雨がふる
- ② 水が地めにたまる
- ③ 川へとながれていく



(4) 川の上にながたまるのは、なぜですか。文のないよつをもとにかきましよう。

解答例) 水がながれるちからで、土や小さな石がはこばれ、川の上にながたまるから